

# 保険者によるがん検診の実施状況調査結果について

令和元（2019）年 7 月 栃木県健康増進課

## 1 回答状況等

県内の市町国保等を除く 16 保険者に対して、がん検診の実施状況（平成 30 年度の実施状況、ただし受診状況は 29 年度）について調査を実施し、すべての保険者から回答があった。

## 2 調査結果概要

### (1) がん検診実施状況

- ・ 15 保険者でがん検診を実施している。未実施の保険者では人間ドックを推奨している。
- ・ 検診を実施している保険者のうち、予算等の理由により子宮頸がんや乳がん検診を実施していないところがある（子宮頸がん検診実施 13 保険者、乳がん検診実施 14 保険者）。
- ・ 検診に係る費用について、被保険者については概ね半数以上のところで受診者負担なしで、その他は一部負担となっている。被扶養者については、一部負担のところが多い。
- ・ 検診対象者について、一部を除き、国が推奨する対象年齢と相違している（がん検診に特化せず、一般健診や特定健診と一連で実施していることが影響していると考えられる）。

### (2) 受診状況の把握及び受診勧奨

- ・ 検診結果について、15 保険者のうち 9 保険者で全て把握している。
- ・ 検査結果の全部又は一部把握の 14 保険者のうち 9 保険者では、法定検診ではなく個人判断によること等の理由により再度の受診勧奨を行っていない。
- ・ 要精検対象者について、全て把握 8 保険者、一部把握 4 保険者のうち 5 保険者で要精検未受診者への受診勧奨を行っていない。

### (3) 被扶養者の受診状況

- ・ 被扶養者の検診について、9 保険者で実施している。また、今後の課題等の自由記載で被扶養者の受診率向上を挙げている保険者がある。

### (4) 市町検診等に係る受診勧奨

- ・ 他の機会でのがん検診受診を勧めているかとの設問に対して、被保険者については 6 保険者、被扶養者については 8 保険者で市町検診や人間ドックの利用を勧めている。

### (5) その他

- ・ 県や市町への要望として、メリット・デメリットを含めた適切な検診に係る情報提供、市町が実施する検診日程や予約連絡先等を記載したチラシ等の提供が挙げられている。

保険者によるがん検診の実施状況調査・結果集計

問1 貴保険者の概要（貴保険者の加入事業所数、加入者数） 略

問2 がん検診実施状況

(1) どのような方を対象にがん検診を実施していますか。

①被保険者	15 /16
②被扶養者	9
③その他	
④実施していない ⇒ 問5へ	1

※人間ドックでの実施を含む。

※未実施の保険者では人間ドック受診を推奨。

(2) 実施している検診は何ですか。

被保険者						被扶養者						その他検診 PSA・CEA 腹部超音波 肝炎ウイルス
胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん	その他	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん	その他	
15 /15	15 /15	15 /15	13 /15	14 /15	5 /15	9 /9	9 /9	9 /9	7 /9	8 /9	2 /9	

(3) がん検診の費用はどのように負担していますか。（同一のがん検診で複数回答あり）

	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
受診者負担なし	9 /15	9 /15	8 /15	6 /13	7 /14	3 /9	3 /9	3 /9	2 /7	3 /8
受診者一部負担	8	8	9	9	9	7	7	7	6	6
受診者全額負担										

問3 がん検診の周知、受診状況の把握

(1) がん検診実施のお知らせをどのように行っていますか。（複数回答あり）

	被保険者	被扶養者
①保険者がポスターや広報等により、対象者全員に周知	8 /15	3 /9
②保険者がメールや通知文書等により、対象者個人に周知	6	5
③事業所がポスターや広報等により、対象者全員に周知	3	
④事業所がメールや通知文書等により、対象者個人に周知	5	
⑤その他（広報誌やホームページによる）	1	1

(2) がん検診の受診状況を把握していますか。

	被保険者	被扶養者
①個人別の検診結果を全て把握 ⇒(3)へ	9 /15	5 /9
②個人別の検診結果は一部把握のみ又は把握していないが、個人別の受診の有無は全て把握 ⇒(3)へ	5	3
③個人別の受診の有無は把握していないが、受診者数は把握 ⇒(6)へ		
④個人別の検診結果、受診者数は把握していない ⇒(6)へ	1	1

(3) 未受診者に対して個人別に再度の受診勧奨を行っていますか。

	被保険者	被扶養者
①全ての未受診者に実施している ⇒(4)へ	2 /14	1 /8
②一部の未受診者に実施している ⇒(4)へ	3	2
③実施していない ⇒(5)へ	9	5

(4) 未受診者に対してどのように受診勧奨を行っていますか。(複数回答あり)

	被保険者	被扶養者
①個人宛てに文書（電子メールを含む）	1 /5	2 /3
②個人宛に電話や面談等	2	
③事業所、所属を経由して伝達	4	1
④その他（被保険者へ電話確認）		1

(5) 未受診者に対して、個人別に受診勧奨を行っていない主な理由は何ですか。(複数回答あり)

	被保険者	被扶養者
①がん検診は法定検診ではなく、個人の判断によるから	6 /9	3 /5
②対象者が多数のため、対応が困難であるから	1	
③その他（意向調査をした際に受診勧奨しても時間がないなどの理由で効果がないため、作業時間の問題等）	3	2

(6) 個人別の検診結果を把握していない主な理由は何ですか。

	被保険者	被扶養者
①個人情報であり、本人の同意をとるのが困難であるから	1 /6	
②検診機関ごとに書式が異なるので、集計が困難であるから	1	1 /4
③対象者が多数で、オプション検査等もあり、全てを把握するのに相当の事務量があって負担が大きいため	3	3
④がん検診は法定検診ではなく、把握する必要がないから		
⑤その他（費用の一部を助成しているだけであるから）	1	

#### 問4 要精密検査対象者の把握、受診勧奨

(1) 精密検査対象者を把握していますか。

	被保険者	被扶養者
①全て把握している ⇒(2)へ	8 /15	6 /9
②一部把握している ⇒(2)へ	4	2
③把握していない	3	1

(2) 精密検査の未受診者へ勧奨を行っていますか。

	被保険者	被扶養者
①全ての未受診者に実施している	5 /12	1 /8
②一部の未受診者に実施している	2	2
③実施していない	5	5

問5 がん検診を実施していない理由等

(1) がん検診を実施していない理由は何ですか。(回答のあった保険者数を記載)

	被保険者					被扶養者				
	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん	胃がん	大腸がん	肺がん	子宮頸がん	乳がん
①がん検診は法律で義務付けられていないから										
②予算、人員、設備等が不足しているから				1	1	3	3	3	4	4
③保険者でがん検診を実施する必要性を感じないから										
④市町等の他機関でがん検診を実施しているから						2	2	2	2	2
⑤がん検診をどのように実施していいかわからないから										
⑥特に理由はない										
⑦その他 (人間ドック受診を優先)	1	1	1	1	1					

(2) 市町等で実施しているがん検診など、他の機会でのがん検診受診を勧めていますか。(回答のあった保険者数を記載)

	被保険者	被扶養者
①市町のがん検診受診を勧めている	2	5
②人間ドックの利用を勧めている	4	3
③その他の機会を勧めている		
④特に行ってない	5	4

問6 平成29年度がん検診実施状況

(1) 胃がん検診の実施状況について記載してください。

項目		被保険者	被扶養者
検査方法 (複数回答あり)	①胃部X線検診	15 /15	9 /9
	②胃部内視鏡検診	11	6
	③その他の検診 (ABC 検診等)	4	2
対象者の設定	・30歳～	3 /15	2 /9
	・30歳及び35歳～	1	
	・35歳～	4	3
	・35歳及び40歳～	2	1
	・40歳～	3	2
	・45歳～	1	1
	・設定なし	1	
受診機会	①年1回	15 /15	9 /9
	②2年に1回		
	③その他		

※対象者の設定の各年齢には、ドックのみ年齢設定、一般検診としての設定、設定年齢未満は希望者可の保険者を含む。

※受診率については、回答数が少ないため、記載していない。(2)～(5)についても同様である。

## (2) 大腸がん検診の実施状況について記載してください。

項 目		被保険者	被扶養者
検査方法	①便潜血検診	15 /15	9 /9
	②大腸内視鏡検診		
	③その他の検診		
対象者の設定	・30歳～	2 /15	2 /9
	・30歳及び35歳～	1	
	・35歳～	6	3
	・35歳及び40歳～	1	1
	・40歳～	3	2
	・45歳～	1	1
	・設定なし	1	
受診機会	①年1回	14 /15	9 /9
	②2年に1回		
	③その他	1 (未回答)	

※対象者の設定の各年齢には、一般検診としての設定、設定年齢未満は希望者可の保険者を含む。

## (3) 肺がん検診の実施状況について記載してください。

項 目		被保険者	被扶養者
検査方法 (複数回答あり)	①胸部X線検査※	15 /15	9 /9
	②喀痰細胞診	4	1
	③胸部C T検査	1	1
	③その他の検診		
対象者の設定	・30歳～	1 /15	2 /9
	・30歳及び35歳～	1	
	・35歳～	4	3
	・35歳及び40歳～	2	1
	・40歳～	2	2
	・45歳～	1	1
	・設定なし、全員、18歳～	4	
受診機会	①年1回	14 /15	9 /9
	②2年に1回		
	③その他	1 (未回答)	

※対象者の設定の各年齢には、一般検診としての設定の保険者を含む。

## (4) 子宮頸がん検診の実施状況について記載してください。

項 目		被保険者	被扶養者
検査方法 (複数回答あり)	①細胞診	12 /13	6 /7
	②HPV検診	1	
	③その他の検診(腫瘍マーカー)	1	1
対象者の設定	・20歳～	4 /13	
	・30歳～	2	2 /7
	・30歳及び35歳～	1	
	・35歳～	3	3
	・35歳及び40歳～		
	・40歳～		1
	・45歳～	1	1
	・設定なし	2	
受診機会	①年1回	12 /13	7 /7
	②2年に1回		
	③その他	1 (未回答)	

※対象者の設定の各年齢には、ドックのみ年齢設定、偶数年齢設定の保険者を含む。

(5) 乳がん検診の実施状況について記載してください。

項 目		被保険者	被扶養者
検査方法 (複数回答あり)	①乳房X線検査(マンモグラフィ)	13 /14	7 /8
	②視触診	5	1
	③乳房超音波検査(エコー)	9	6
	④その他の検診(腫瘍マーカー)	1	1
対象者の 設定	・30歳～	3 /14	2 /8
	・30歳及び35歳～	1	
	・35歳～	4	3
	・35歳及び40歳～		
	・40歳～	3	2
	・45歳～	1	1
	・設定なし、18歳～	2	
受診機会 (複数回答あり)	①年1回	13 /14	8 /8
	②2年に1回	1 (マンモの場合)	
	③その他	1 (未回答)	

※対象者の設定の各年齢には、ドックのみ・X線のみ年齢設定、偶数年齢設定の保険者を含む。

問7 貴保険者では、がん検診受診勧奨についてどのような取組を行っていますか。(主なもの)

- ・がん検診としてではなく、人間ドックとして費用補助をし、広く受診を呼びかけている。特に未受診者については個別での状況確認を実施。
- ・人間ドックも含まれており、任意なので特に勧奨はしていない。
- ・被扶養者には、定期健診・人間ドック・集合契約の中からどの健診を受診するか意向調査をする際にパンフレット等で健診の必要性を同封。
- ・がん検診に特化した受診勧奨は行っていないが、ドック健診の利用を促進するため、健診受診の補助事業を実施。また、加入者の多い事業所を訪問し、ドック健診の重要性を説明し、従業員への周知を依頼。
- ・がん健診のみの受診勧奨は行っておらず、生活習慣病予防健診として加入事業所、加入者に受診勧奨。
- ・被保険者については、対象年齢における受診率100%になるよう所属を通して受診勧奨。
- ・被保険者の胃がん検診、大腸がん検診は定期健康診断項目に位置づけられているため、未受診者に対しては、所属を通して受診勧奨。
- ・生活習慣病健診、人間ドックを勧めている。
- ・人間ドックは健保の費用補助のほか、5歳刻みの年齢で会社または健保が自己負担分の費用を補助し、無料で受けられる仕組みがある。
- ・ヘルスケアポイントの付与により、受診を促進。
- ・自己負担なく受診が可能。
- ・被扶養者は特定健診のみであるが、市町村実施の各種がん検診費用について全額補助。